

	桔梗が丘自治連合協議会定時総会議事録
日 時	平成23年5月7日(土) 午後1時30分～5時10分
場 所	桔梗が丘公民館・講堂
出 席 者	別紙記載のとおり
1. 開会の辞	山中事務局長が司会をつとめ、平成23年度桔梗が丘自治連合協議会定時総会の開会を宣した。
2. 議事録署名人選任	本定時総会の議事録署名人に中山茂氏と辻井政教氏の2名を選任し承認された。
3. 会長挨拶	<p>小澤会長から、開会にあたっての挨拶があった。</p> <p>(要旨)</p> <p>桔梗が丘自治連合協議会が設立され、早や1年7ヶ月が経過した。現在の組織は3専門委員会と6事業部会が広範囲な活動を進めている。</p> <p>近年の桔梗が丘地区は高齢化が進み、これに対応する福祉政策をどのように進めていくかがこれからの大きな課題となっている。</p> <p>一方、本年3月11日に発生した東日本大震災に象徴されるように大地震の到来の可能性が論議されているが、緊急災害時に対する防災対策も必要になっている。我々も新たな自主防災隊組織を立ち上げる準備を進めている。</p> <p>こうした作業を進めていく為には、近隣の絆作りを深め、住民相互扶助の関係の進化が求められている。</p> <p>地域住民の皆さんには、一層の災害に強い街づくり、住み良い街づくりにご協力をお願いします。</p>
4. 来賓紹介と挨拶	<p>司会者から、本総会に出席いただいた来賓5名の紹介があり、来賓を代表して亀井利克名張市長からお祝いの挨拶があった。</p> <p>(来賓)</p> <p style="text-align: center;">名張市長 亀井 利克 氏</p>

	<p>名張市議会議員 川合 滋 氏 名張市教育長 上島 和久 氏 名張市教育委員会文化生涯学習室長 杉本 一徳 氏 名張警察署桔梗が丘交番所長 村松 浩司 氏</p> <p>(亀井市長挨拶要旨)</p> <p>本日の定時総会の開催のお祝いを申し上げます。</p> <p>貴協議会が各種の事業を通じて、安全・安心のまちづくりを目指し、地域住民のために、地域福祉、青少年健全育成、快適環境、健康づくりに尽くしておられることに敬意を表すと共にお礼を申し上げます。</p> <p>このたびの東日本大震災に対する義援金の取り組みにも感謝とお礼を申し上げます。名張市も現地（塩釜市）の要請に応じて支援をしていくことになっている。</p> <p>本年9月4日（日）には、本市で三重県の防災訓練を予定している。その折には、地域の皆さんのご協力をお願いする。</p> <p>(来賓の亀井市長挨拶のあと、来賓退席)</p>
<p>5. 議 事</p> <p>(1) 総会成立宣言</p> <p>(2) 議長あいさつ</p> <p>(3) 議案第1号平成22年度事業報告及び一般会計決算の承認に関する件</p>	<p>司会者から、本日の総会は協議会規約第18条の規定に基き、評議員定数40名以内のところ26名の出席があり評議員の過半数が出席しており、本総会は有効に成立していると述べた。</p> <p>(原田議長、石川副議長着席)</p> <p>原田議長、石川副議長着席し、原田議長から、今日は時間も少し多くかかるかと思いますが、活発な審議をお願いするとともに、皆様のご協力でスムーズに進行するようによろしくお祈いすると挨拶があった。引き続き石川副議長の挨拶があった。</p> <p>議長から、規約により、傍聴者の方は発言権はないのでよろしくお祈いすると述べた。</p> <p>(議事に入る前に東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げた。)</p> <p>原田議長から、本総会資料に基づき会議を始める。議案第1号平成22年度事業報告及び一般会計決算の承認に関する件及び議案第2号平成22年度公民館事業報告及び会計決算の承認に関する件の2議案を一括議題とすると述べ、執行部に提案説明を求めた。</p> <p>(各委員会・部会の事業活動報告の要旨)</p>

<総務委員会>

林田総務委員長から、総務委員会の活動内容について、総会資料にもとづき概ね次のように説明があった。

平成22年度総務委員会は、資料に記載された5項目の事業を担ってきた。

以下がその事業の内容である。(詳細は総会資料参照)

1. 総会、理事会、自治連合会等の会議の円滑な運営を図った。
2. 規約、規則、規程等の制定又は改正による協議会運営の充実化を図った。
3. 協議会の財務内容を点検し、財務方針を明確化した。
4. 指定管理者として、協議会事業と公民館事業との協働化を図り、相互の事業の充実化を図った。
5. 協議会事業の成果を高めるための事業を実施した。

① ボランティアに関する研修会を2回開催。

② 名張市の人口構成の将来見通しに関する研修会を開催。

会議の運営、規約、規則、規定の整備等は発足初年度にもかかわらず、ほぼその目的を達した。その他、財務内容の点検、指定管理者としての公民館事業との協働事業も予定通り遂行した。

一方協議会事業の成果を高める為の講演会を2回実施し、住民の方の参加もあり、満足できるだけの成果が挙げたので、今後も継続していきたい。

予算額合計 172,400円

決算額合計 142,938円

<企画運営委員会>

坂本企画運営委員長から、企画運営委員会の活動内容について、総会資料にもとづき概ね次のように説明があった。

平成22年度の当委員会の当初の計画は次のようなものであった。

1. 地域ビジョンの策定にあたり委員会を立ち上げ、アンケート、あったらいいな提案を募集、その後住民説明会、先進的事例の研究、事業計画への展開。
2. コミュニティービジネスの検討、情報収集。
3. 事業部会に対する新規事業の提案。
4. 事業部会に対する支援
5. 事業部会の事業評価システムの検討。

これらの項目のうち2.～5.については出来なかった。

本年度は「地域ビジョン」の策定に全精力を注ぎ込み取り組んできた。その具体的内容は次の通りです。

- ・ 昨年7月に策定委員会を立ち上げ、本年3月までの間に26回の会合を開催し策定を推進。
- ・ 7月～8月にかけて全戸にアンケートを実施（16,545枚配付、2,198枚回収、回収率13.3%）
- ・ 7月に地域内の小学校、中学校、高校2年生及び一般の方にあつたらしいな提案を依頼。学校307件、一般86件、合計393件の提案があつた。
- ・ 8月1日には講演会とワークショップを開催し、62名の参加があつた。
- ・ 住民説明会、事業計画への展開は出来なかつた。

この結果、平成22年度は当初の目的達成には至らず、中間報告のまとめまでとなつたが、10名の委員が75時間に及ぶ討議を重ね、アンケートや提案をより深く分析することは、未来の桔梗が丘を創るための高い理想を掲げることに避けてはとれないプロセスであつた。新しい「地域ビジョン」については、平成23年度のより早い時期に地域住民の皆さんに提示したいと考えている、と述べた。

本日報告事項で地域ビジョンの中間報告をさせていただく。

予算額合計 450,000円

決算額合計 310,969円

<広報委員会>

野邊広報委員長から、平成22年度広報委員会の活動内容について、総会資料にもとづき概ね次のように説明があつた。

広報委員会は、平成22年度25回開催し、延べ127名方のご協力を得て、ききょう通信の発行等の広報活動を進めた。

当広報委員会の役割は地域住民と協議会の橋渡しだと考えている。そのため以下の事業を実施した。その詳細は総会資料に記載しているので、ご参照いただきたい。

1. 他地域における広報紙の内容・編集手法の研究。
2. 情報伝達状況の把握・アンケート等を実施。
3. 広報紙研修会へ参加。

広報要素の基礎的セミナーで今後の編集作業に生かせる。

4. ききょう通信を発行（年間6回）した。地域の住民の方に情報を提供できる最大のツールと考えており、今後はもっと内

容を充実させて行きたい。

5. ホームページはリニューアルの後、管理運営は充分できなかった。このホームページの管理運営については23年度の課題としたい。

予算額合計 421,000円

決算額合計 255,615円

<健康推進部会>

高槻健康推進部会長から、平成22年度健康推進部会の事業実績について、総会資料にもとづき概ね次のように説明があった。

1. 敬老の日の行事：平成22年9月19日。記念品配付は好評であった。次年度も継続するが、記念品の内容は検討する。
2. ききょう健康まつり：平成22年10月31日
午前の部ウオーキング44人参加、午後の部健康まつりは参加者は250人（昨年より微減）
3. ニュースポーツ世代間交流大会：平成23年3月26日
本年度始めて実施、参加者50人（子どもの参加が1人と少なかった）。
4. 体操会との協働事業を実施
桔梗が丘地域のラジオ体操会との協働事業。
5. ききょう健康講座をまちの保健室と協働実施。
ベルフラワー教室として実施。参加希望者も多く、好評であった。

予算額合計 2,240,000円

決算額合計 2,126,725円

<住民交流部会長>

廣岡住民交流部会長から、平成22年度住民交流部会の事業実績について、総会資料にもとづき概ね次のように説明があった。

1. 桔梗が丘夏まつりを実施：平成22年8月22日。
内容は、模擬店、フリーマーケット、盆踊り、パレードと年々充実化を図ってきた。又本年度は抽選会に代わり、模擬店の利用券(200円)を導入した。(初年度の為に予定数を下回った)
参加者は約1万人と年々賑やかになり、次年度以降も内容を充実させていきたい。

2. ハッピーニューイヤーききょうフェスタ(フェスタとどんど焼き)

平成23年1月8日及び10日の両日実施した。8日のフェスタは地域子ども達を楽しみにしているくらい年々盛り上がってきている。10日のどんど焼きは本年度は特に参加者も多く、実施主体となった2番町のドンド保存会の協力に感謝する。

予算額合計 1,050,000円

決算額合計 859,480円

<教育文化部会>

竹原教育文化部長から、平成22年度教育文化部会の事業実績について、総会資料にもとづき概ね次のように説明があった。

1. 桔' ずセミナー：夏(7・8月)、冬(12月)に開催した。

夏：料理、科学、囲碁、手芸、よさこいソーラン、太鼓の6教室。参加者延べ405人

冬：クリスマスケーキづくり、手芸の2教室。参加者30人。

2. こころの思い発表会：公民館展にあわせて10月23日開催した。地域内の小中学校から15名。

本年度要約筆記を採用。

3. ふるさと歴史ハイキング：平成22年11月6日開催した。伊賀神戸から壬申の乱の道、神戸神社、城之越資料館。

参加者は68人。

4. 研修会の実施；2月17日「川越町・朝日町への研修会」

5. 私の一冊文庫

書籍の購入費用を負担した。

毎月第3土曜日に桔梗が丘サロンで読み聞かせを行っている。

予算額合計 360,000円

決算額合計 321,650円

<生活安全部会>

吉野生活安全部長から、平成22年度生活安全部会の事業実績について、総会資料にもとづき概ね次のように説明があった。

1. 普通救命講習会を5月と12月に開催。

参加者計34人。場所は今年から名張消防庁舎。

2. AEDレンタルを継続契約。
3. 青色回転灯（防犯）パトロールを毎月4回実施。
6人の隊員体制で毎月4回、1回1時間の所要で桔梗が丘地域内をパトロール。
4. 命の笛を地域内の3小学校に贈呈。
5. 桔梗が丘マップの危険箇所の解消・改善の取り組みを推進する。
6. 災害時要援護者支援体制のサポート
現在検討されている、自主防災隊組織の中で、災害時要援護者支援体制についても検討されているので協力していく。

予算額合計 150,000円

決算額合計 145,259円

<快適環境部会>

加納快適環境部会長から、平成22年度快適環境部会の事業実績について、総会資料にもとづき概ね次のように報告があった。

1. 桔梗が丘クリーン作戦を5月16日実施。参加者計250人。その他に団体参加があった。（3番町、5番町）
2. ホタル観賞会をシャックリ川で開催。
参加者計大人77人、子ども70人。
3. バードウォッチングを1月9日実施。
参加者35人。10号公園と西徳明池で野鳥観察。
4. グリーンカーテン運動として、5月9日にゴーヤの苗を地域の皆さんと公共施設に計940株配付。
地球温暖化防止の啓発運動として実施した。
9月には各家庭のグリーンカーテンの写真展を公民館で開催した。

予算額合計 150,000円

決算額合計 128,436円

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、平成22年度地域福祉部会の事業実績について、総会資料にもとづき概ね次のように説明があった。

当部会は解散した桔梗が丘地区社会福祉協議会の事業を継承して活動をしてきたものである。

1. 高齢者・障がい者への友愛訪問を毎月1回「陽だまり」を持参。1回700枚を持参。
2. 年末の友愛訪問としてプレゼントを持って高齢者（75歳以上）宅を訪問。
3. 高齢者のつどい：5月30日実施。80歳以上の地域のお年寄り148人が参加。区長・自治会長16名、民児協28名。
4. いきいきサロン：地域内14箇所で開催。年々参加者が増加し、予算が約10万円不足となり、予算流用の承認を頂いた。
5. グループホーム交流会：11月14日地域内の7箇所のグループホームと意見交換と交流会を開催。
6. ちびっ子なかよし広場を毎月1回実施。参加者は1回平均50人。手作りのおもちゃ等を使って活動。
7. 地域高齢者への配食と見守り協働事業として「友～友」「いこい」の2グループと実施。

予算額合計 990,000円

決算額合計 1,052,163円

引き続き、林田総務委員長から、平成22年度一般会計決算について、概ね次のように説明があった。

平成22年度の決算書については、支出の部の各事業費は各事業部会からの事業内容と共に報告されたので、収入の部及び支出の部の総務費について説明をすると述べた。

収入の部（主なものを説明）

会費： 998,200円（各地域からの地区会費）

交付金： 5,547,000円（名張市交付金基本額）

〃 5,848,750円（地域の各コミュニティー活動費）

特別交付金 : 200,000円（地域ビジョン策定費）

市社協交付金： 625,170円（市社協会費の割戻金）

補助金： 250,900円（市社協からのサロン等に対する補助金）

繰越金： 5,879,972円

収入合計：19,371,729円

支出の部（総務費の主なものを説明）

総務事業費： 142,938円（総務委員会主催の講演会費等）

	<p>報酬報償費： 336,400円（実費弁償費） 会議費： 198,980円（総会資料代等） 研修費： 18,636円（教育文化部会研修費） 防犯防災費： 200,000円（桔梗消防班へ補助金） 事務費： 541,586円（印刷費、コピー代、その他事務経費） 雑費： 29,092円（教育文化部会の要約筆記の費用等）</p> <p>積立金は本年度より、財政調整積立金及び自然災害積立金を開始した。金額はそれぞれ50万円。車両買換積立金は20万円。</p> <p>別紙2-2に平成22年度末の積立金残高を記載しているのでご確認いただきたい。</p> <p style="text-align: right;">支出合計：13,716,679円 次期繰越金：5,655,050円</p>
(監査報告)	<p>田合監事から、平成22年度の監査について次のように述べた。</p> <p>平成23年3月27日（土）に各事業部会の事業について業務監査を行い、平成23年4月10日（日）一般会計決算の会計監査を実施した。</p> <p>その結果は監査報告書に記載のとおり、全てに於いて良好であったと監査の結果を述べた。</p>
(4) 議案第2号平成22年度公民館事業報告及び会計決算の承認に関する	<p>引き続き、原田議長から、公民館事業報告及び会計決算について説明を求めた。</p> <p>森永公民館館長から、平成22年度公民館事業報告が総会資料に基づき概ね次のように説明があった。</p> <p>本総会から公民館事業報告について報告させていただく事になったのでご了承いただきたい。</p> <p>総会資料22ページに、公民館が実施した講座、教室、行事について記載されているのでご参照願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 桔梗グリークラブは男声合唱で5年間続いたが、平成22年度が最終年度となり、平成23年度からはサークルとして活動する事になった。 ・ スイーツスイーツは若いお母さんを対象に企画をした。 ・ タッチ・ザ・サイエンスは小学生対象の科学教室。

- ・ 男性の料理教室を数年ぶりに実施した。(活男厨房)
- ・ 中高齢者向けの講座として暮らしの書道、大人の科学教室を実施した。
- ・ 夏期大学講座は7. 8月に4回実施。参加者は延べ378人。この夏期講座の講師、講義内容は資料記載の通りである。

森中会計担当理事から、平成22年度公民館会計決算報告について、概ね次のように述べた。

収入の部 (主なものを説明)

交付金： 14,902,000円 (名張市指定管理者制度)

使用料： 3,220,395円 (公民館使用料)

コピー使用料： 373,708円 (印刷、コピー代)

・ 公民館使用料、コピー使用料とも前年比増となっているのは、一般の利用者増と、大判プリンター導入による収入増があつた。

雑収入： 180,348円 (夏期大学講座参加費等)

・ 本年度は夏期大学講座の参加費を計上、次年度からは事業収入とする。

繰越金： 5,445,381円

収入合計 24,121,832円

支出の部 (主なものを説明)

人件費： 8,673,868円 (給与と社会保険料)

管理費： 7,481,120円

消耗品費： 497,579円 (事務用品等)

光熱水費： 3,268,266円 (電気、ガス、水道)

修繕料： 313,105円 (網戸修繕、カーテン張替)

委託手数料： 1,874,035円 (法定点検料)

備品購入費： 717,943円 (業務用パソコンを1台購入)

※予算超過分は、理事会に諮り承認された。

使用料等： 423,739円 (リース料等)

運営費： 678,781円

報償費： 400,000円 (講師料)

印刷製本費： 113,322円 (情報誌印刷代)

郵便料： 75,730円

雑費： 85,252円

	<p>事業費：748,542円（夏期大学、プチコンサート等） 消費税：444,600円 支出合計：18,026,911円 次期繰越金：6,094,921円</p>
(監査報告)	<p>田合監事から、平成22年度の監査について次のように述べた。 平成23年4月10日(日)公民館会計決算の会計監査を実施した。 その結果は監査報告書に記載のとおり、全てに於いて良好であったと監査の結果を述べた。報告として、平成22年度から監事2名が理事会に出席していると述べた。</p>
(質 疑)	<p>原田議長は、議案第1号、議案第2号の質疑を行うが、傍聴者の方は発言できませんと再度述べた。</p> <p>原田議長：質問をどうぞ。発言者は名前を告げた上お願いします。 ※傍聴者から、当地区の評議員は欠席しているが、質問書を出しているの確認の上回答を頂きたいと述べ、議長は氏名を確認のうえ後日回答すると述べた。(6番町大野氏、評議員は中西氏)</p> <p>花本評議員：協議会の各部会員の活動に感謝する。 昨年三重大学の学生による講演会が実施されたが、これは協議会の事業ではなかったのか。</p> <p>大垣副会長：あの事業は名張市を通じて三重大学医学部からの依頼によって開催した。従って当協議会の活動の記録にはない。</p> <p>花本評議員：こうした事業を今後取り上げていただきたい。</p> <p>AEDの講習会に多くの参加者が出席できるよう配慮願いたい。機器についても、もっと幅広く設置できないか今後検討願いたい。</p> <p>決算書の健康推進部会の繰出金とはどんな意味か。</p> <p>林田総務委員長：繰出金とは役所用語と思うが、一般会社の仮払金に当たると考えていただきたい。使う事業は比較的大きな事業に限っている。</p> <p>花本評議員：公民館会計に消費税があるが、収入は税込みか。</p> <p>田合監事：公民館使用料が対象であるが簡易課税方式を採っている。</p> <p>坂口評議員：質問というよりお願いです。報告に時間がかかり質疑の時間が無くなる。内容は事前に資料をもらっているため簡潔にして、質疑に時間をかけていただきたい。</p> <p>原田議長：発言に同感なので、以後はそのように行いたい。引き続</p>

	<p>きご質問はあれば発言願いたい。</p> <p>原田議長：質問がないようなので採決に移ります。議案第1号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。</p> <p>全員賛成であります。よって、議案第1号は原案のとおり承認されました。</p> <p>引き続き議案第2号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。</p> <p>全員賛成であります。よって、議案第2号は原案のとおり承認されました。</p>
<p>(5) 議案第3号桔梗が丘自治連合協議会会長及び理事等の承認に関する件</p>	<p>林田総務委員長から、本年度の会長初め理事は任期の途中ではあるが、諸般の事情から、平成23年度桔梗が丘自治連合協議会の会長及び1部の理事に変更があり、候補者名簿に基づいて次のように説明があった。</p> <p>会長に辻森保蔵氏に就任をお願いする。その他、副会長兼総務委員長に大垣孝彦氏、理事に河合進氏、上田博氏、小幡正廣氏、理事・企画運営委員長に阪本忠士氏、理事・会計担当に松村勲氏の各氏を挙げた。その他の理事、監事については任期が満了までお願いする。</p> <p>原田議長：議案第3号について、ご質問があればご発言願いたい。</p> <p>花本評議員：ブロックの区分はどうなっているのか。</p> <p>林田総務委員長：協議会規約施行規則（資料64ページ）第2条を参照されたい。</p> <p>原田議長：議案第3号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。</p> <p>全員賛成であります。よって、議案第3号は原案のとおり承認されました。</p> <p>ここで5分間休憩いたします。</p> <p>（新執行部が所定の位置に着席）</p>
<p>(6) 新旧会長挨拶</p>	<p>司会者：会議を再開いたします。ここで小澤前会長並びに辻森新会長の挨拶を頂きます。</p> <p>（辻森新会長挨拶要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治連合協議会は一のチームで、自治連合会、各地区の団体、公民館の3者が一体となって、住みよい安全・安心のまちづくりを進めていきたい。 ・ 地域で出来る事は地域で解決する。

<p>(7) 議案第4号平成23年度事業計画及び協議会会計予算の承認に関する件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名張市の行政側とも連絡を密にして、まちづくりに生かして行きたい。 ・ これまでまちづくりにご尽力いただいた諸先輩の功績に恥じない運営をしていきたい。 <p>(小澤前会長挨拶要旨)</p> <p>一昨年、区長会とまちづくり委員会が一体化することになり、区長会の代表幹事であった私が会長に就任した。以来、1年半皆様のご協力の下会長職を無事努めさせていただいたことに感謝する。</p> <p>今後も何かとお世話になると思うがよろしく願います。</p> <p>原田議長：議事を再開します。</p> <p>議案第4号平成23年度事業計画及び協議会会計予算の承認に関する件、議案第5号平成23年度公民館事業計画および会計予算の承認に関する件の2議案を一括議題とすると述べ、執行部に提案説明を求めた。</p> <p>各委員会・部会の事業計画報告の要旨。</p> <p><総務委員会></p> <p>大垣副会長兼総務委員長から、総務委員会の平成23年度事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。</p> <p>総務委員会は協議会事業の成果を高めるための後方支援として、次の3つの事業を実施したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) まちづくりに成功している市町村の具体的事例の講演会 <ol style="list-style-type: none"> ① 日時：平成23年5月22日(日) ② 講師：岩崎恭典氏(四日市大学総合政策学部教授) ③ 予算額：80,600円 2) まちづくりに成功している市町村の具体的事例の視察 <ol style="list-style-type: none"> ① 日時：平成23年6月12日(日) ② 視察地：滋賀県彦根市、長浜市(予定) ③ 予算額：58,000円(総務費の研修費) ④ 参加者：自治連合協議会の希望者(定員27名・名張市のバスを使用するので費用はかからない) 3) 福祉先進国の福祉内容に関する講演会 <ol style="list-style-type: none"> ① 日時：平成23年10月2日(日) ② 講師：守本友美氏(皇學館大學社会福祉学部教授) ③ 公民館との協働事業 ④ 予算額：55,600円
---	---

予算額合計 136,200円

<企画運営委員会>

阪本企画運営委員長から、平成23年度の企画運営委員会の事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。

1. 地域ビジョンの啓蒙・浸透

1) 地域ビジョンのパンフレットの作成、配布。

現在策定中の地域ビジョンの完成を待って、パンフレット（正式版・ダイジェスト版）を作成し、地域住民の皆さんに配布する。

予算額 180,000円

2) 地域ビジョン説明会の開催

「地域ビジョンのパンフレット」配布と相前後して、公民館にて発表会を開催する。

予算額 50,000円

3) 地域ビジョンパイロット事業の推進

桔梗が丘地区においてコミュニティービジネスとして取り組めそうな「空き店舗パブ」「ガレージベンチ」「市民農園」「お助け隊」等を試行事業として取り組みを始める。

予算額120,000円

2. コミュニティービジネスの検討、情報収集 予算計上なし

3. 事業部会に対する新規事業の提案 予算計上なし

4. 事業部会に対する支援 予算計上なし

5. 事業部会の事業評価システムの検討 予算計上なし

予算額合計 350,000円

<広報委員会>

野邊広報委員長から、広報委員会の平成23年度事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。

平成23年度の広報委員会の事業計画と予算額についてご説明をする。基本的には平成22年度と大きく変更は無い。但し、平成22年度の事業として計画するも、十分に組み込まなかったものがあったが、これに対して継続して取り組みたい。成果を挙げられなかった理由は色々あるが、その反省点を十分に踏まえて取り組んでいきたい。

広報委員会の使命は、協議会の活動内容を住民の皆さんにお知らせし、又、その要望を汲み上げていくところにあると考えている。この基本的な方針の下に広報活動を展開して行く。

平成23年度の事業の大きな活動の柱は次の2つである。

①「ききょう通信」の発行・各戸配付による隔月発行（6. 8. 10. 1. 3月の年間5回）予算額は282,000円。

昨年実施したアンケートに基づきカラー刷りを中止して、全てモノクロとする。従って予算額は昨年より減となる。本年度は発行号数50号の節目となるので記念号を考える。

②「ホームページ」の管理運営

昨年リニューアルしたが、その後人手の関係で更新作業が滞り、住民の皆さんの期待を裏切ることになり申し訳なく思っている。平成23年度は改めて、管理運営を再構築していきたいと考えている。予算額は40,000円とした。

予算額合計 322,000円

<健康推進部会>

高槻健康推進部会長から、健康推進部会の平成23年度事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。

本年度計画している事業は基本的には平成22年度と同様に次の5件と、名張市健康支援室主催の健康講座への参加となっている。

1) 敬老の日の行事

昨年と同様に70歳と88歳の方に長寿記念品（275人×3000円）を、70歳以上の方に記念品（2450人×330円）を配付する予定。

今後の課題は対象者が増加していくことに対する対策。

予算額：165万円（予備費含む）

2) ききょう健康まつり

11月の第1日曜日に開催予定。午前中に健康ウォーキングを実施、午後は桔梗が丘公民館で各種の健康チェックを行う。詳細は資料に記載している。

予算額：40万円

3) ニュースポーツ世代間交流大会

平成22年度初めて実施した事業であるが、本年度も引き続き計画している。内容はグランドゴルフを初めとして4種目を予定。

予算額：6万円

4) 体操会との協働事業

3月1日から11月30日までの9ヶ月間、桔梗が丘小学校

グラウンドで開催。夏休みには多くの小学生が参加している。予算は景品代。

予算額：3万円

5) ききょう健康講座

桔梗が丘まちの保健室の協力を得て、地域住民の健康啓発のために昨年から実施したが、23年度も継続して実施。内容は資料に記載している通り。

予算額：20万円

6) 名張市健康支援室（健康センター）主催の健康講座への参加。

平成23年度からの新しい事業。年間5日間・5回程度開催。地域の皆様に介護予防、健康づくりについての情報発信をするために部会員が参加する。

予算額：2万円

予算額合計 2,360,000円

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長から、住民交流部会の平成23年度事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。

地域の皆さんの絆づくりと、交流を深めるための事業を実施しているが、平成23年度も前年同様に「桔梗が丘夏まつり」と「ハッピーニューイヤーききょうフェスタ」の事業を計画している。

1) 桔梗が丘夏まつり

実施予定日は8月20日（土）で、場所は例年通り桔梗が丘商店街。

夏まつりは本年度で8年目となるが、当初の計画で10年間は内容を見直すこととなっているが、昨年はその一環としてシャトルバスの運行について調査をした。結果は利用者からは好評であったので継続する。また、抽選会を止めて模擬店利用券を配付したが、周知不足もあり予定数を下回ったが、平成23年度は1枚300円（昨年は200円）に変更して配付する。

イベントについて本年度はその内容を検討することになっている。その他の事項は平成22年度と同様の内容で予定している。

予算額：繰り出し金90万円、協賛金82万円、雑収入3万円の計175万円

2) ハッピーニューイヤーききょうフェスタ

こちらも、地域の大人と子どもと一緒に新年を祝う催しとして実施

する。また、どんどこ行事を2番町の「どんどこ保存会」の協力を得て協議会の事業として実施。

実施予定日はフェスタが1月7日(土)、どんどこ行事は1月9日(祝・月)。 予算額の合計は20万円

予算額合計：195万円(協議会会計予算額：110万円)。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、教育文化部会の平成23年度事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。

平成23年度の事業計画は、前年同様に次の4事業を計画している。

1) 桔'ずセミナー(第7回)

・実施は夏6講座4回：料理、科学、囲碁、手芸、太鼓、よさこいソーラン。

・冬3講座1回：料理、手芸、未定。

・夏の受講者は夏まつりに、冬の受講者はニューイヤーフェスタに参加を予定している。

・冬の科学教室は今年参加者が無かった反省から、内容を検討中。

・ボランティアの講師を募集中、特に男性の方をお願いしたい。

予算額：214,000円

2) こころの思い発表会(第15回)

・公民館展にあわせて実施。内容は昨年と同様。

予算額：115,000円

3) ふるさと歴史ハイキング(第15回)

・大人から子どもまで、地域の歴史を学び、ふるさとを愛する心を育てる。

・実施予定は11月初旬

・行き先等は未定であるが、平成23年度は名張市内中心で開催を検討する。

予算額：40,000円

4) スキルアップの為の講習会

・本年度は名張市のバス利用を総務委員会に譲ったので交通費を予算化した。行き先は大阪を予定している。

予算額：50,000円

※総務費の研修費から支出

5) 私の一冊文庫

桔梗が丘サロンで毎月第3土曜に開催している本の読み聞かせ事業との協働事業を次年度も引き続き協働事業として取り組む。

予算額： 16,000円

予算額合計 385,000円

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、生活安全部会の平成23年度事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。

1) 普通救命講習会、

昨年同様に年2回(5月、10月)名張市消防庁舎2階の講習室で開催する。参加予定者は1回25人、合計50人。講習内容は①止血法、②異物除去法、③心肺蘇生法、④AED取扱法を学ぶ。この講習会は今後継続して実施していく。

予算額： 3,460円

2) AEDレンタル

桔梗が丘公民館に設置。セコム三重(株)と契約し平成26年1月27日まで継続する。

予算額： 61,740円

3) 防犯パトロールの実施

青色回転灯装着車で桔梗が丘地区内を3コースに分け、2台の車に隊員6人が分乗して、それぞれのコースを巡回。

費用はガソリン代、活動のための費用として、一人1回200円、保険料は車を提供していただいている方(運転者の限定なし)の保険と公用車の保険の差額を支出するための費用。

予算額： 89,800円

4) 命の笛贈呈

平成24年4月に地域内の3小学校の新入児童に贈呈するもの。

予算額： 15,000円

贈呈にあたっては、民生児童委員会の委員の方に協力をお願いしている。

5) 桔梗が丘自治連合協議会の自主防災隊組織づくりに協力。

昨年9月に地域の防災を考えるための検討委員会を立ち上げたもの。委員は13名。新年度からの具体的活動に向けて作業を進めている。(災害時要援護者への取組も含んで検討している。)

6) 桔梗が丘マップの危険箇所の解消・改善取り組みを促進。

この事業は平成19年度にマップを作成して、適時解消に向けて

お願いをしているが、今後も継続して取り組む。

予算額合計 170,000円

<快適環境部会>

加納快適環境部会長から、快適環境部会の平成23年度事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。

平成23年度の予算額は昨年度の総額15万円に比較して大幅に増加しているが、これは(財)自治総合センターからの助成事業に応募した結果、交付が内定したからである。

この助成金にもとづく平成23年度の当部会の事業計画は次の3事業である。

1) 地球温暖化対策事業 (緑のカーテン事業)

- ・ 5月8日に、希望する所帯(3株)や公共施設等にゴーヤ苗を配付し、植栽を奨励する。配付予定数は2000株
- ・ 7月23日に相可高校の調理学科の生徒によるゴーヤ料理教室の開催。
- ・ 9月中旬には「うちのゴーヤ自慢展」として写真や栽培の感想文を展示する。
- ・ 各家庭で栽培されたゴーヤを公民館に持ち寄り「お持ち帰りコーナー」を設ける。

これらの事業を通じて、地域住民の皆さんに地球温暖化に向けた意識の向上に寄与する。

予算額：484,130円

2) 地球環境保全・教育啓発事業

- ・ ゲンジホテル観賞会

シャックリ川に生息するホタルの観賞と生態を知り、地球環境保全に対する意識の向上を図る。実施は平成23年6月11日(土) 夕刻から勉強会と観賞会を行う。

- ・ バードウォッチング

10号公園での野鳥のウォッチングを通じて地域の自然や住環境を知り、自然に親しむだけでなく、環境保全についても学ぶ。実施は平成24年1月8日(日)

予算額：82,000円

3) 桔梗クリーン作戦

環境美化啓発事業として、名張市クリーン作戦に賛同して昨年同様に実施する。実施日：平成23年6月5日(日)

予算額：30,000円

これらの事業を23年度は行いたい。

予算総額：596,130円

今年度の事業の内、「緑のカーテン事業」及び「ホテル観賞会」「バードウォッチング」は(財)自治総合センター(全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を財源としている財団)からの助成事業である。(助成額50万円)

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、地域福祉部会の平成23年度事業計画について、総会資料にもとづき概ね次のような説明があった。

昨年5月に桔梗が丘地区社会福祉協議会が解散した為に、その事業の受け皿として地域福祉部会が設立された。

平成23年度の当部会の事業は次の7事業となる。

1) 高齢者、障がい者等への友愛訪問。

毎月1回「陽だまり」を携えて、安否確認と相談、支援。

予算額：50,000円

2) 年末友愛訪問

75歳以上のひとり暮らし、75歳以上の高齢者のみ世帯、重度の寝たきりや認知症の方等への友愛訪問。

予算額：220,000円

3) 高齢者のつどいの実施

80歳以上の高齢者と親睦と交流を図る。実施は平成23年5月29日(日)を予定している。

参加者は約80名を予定。各地域の代表者に参加を要請。

参加者は500円の個人負担金が必要と案内する。

予算額：200,000円

4) いきいきサロンの実施

桔梗が丘地域内14箇所の小地域で、高齢者の絆づくりと、親交を深める目的で開催。年間参加者目標1700人

予算額：510,000円

5) グループホーム交流会

桔梗が丘地域内7箇所のグループホームとの交流会を年1回実施予定。

予算額：30,000円

6) 赤ちゃん、ちびっ子なかよし広場

未就園児とその母親のつどいを、毎月第3火曜日に実施。

予算額： 30,000円

7) 地域高齢者への配食と見守りの協働事業「いこい」「友～友」の2団体。

予算額： 60,000円

予算総額：1,100,000円

原田議長:簡潔に説明を頂き、スムーズな議事進行に協力感謝する。
引き続き、協議会会計予算の説明をお願いします。

大垣副会長兼総務委員長から、平成23年度協議会会計予算について、総会資料に基づき概ね次のように述べた。

尚本年度より会計の表現を協議会会計(規約には「協議会会計」と規定)とすると説明があった。

・収入の部(主なものを説明)

会費： 1,000,000円(各地域からの地区会費)

交付金： 4,854,000円(名張市ゆめづくり交付金基本額)

〃： 5,131,200円(コミュニティー活動費)

特別交付金： 300,000円(事務局経費)

※今年度限りの特別交付金、次年度以降は不明)

市社協交付金： 630,000円(市社協会費の割戻金)

補助金： 260,000円(市社協からのサロン等に対する補助金)

助成金： 500,000円(快適環境部会への環境保全促進助成金)

〃： 52,340円(団体活動助成金)

※総務委員会が今月開催する講演会への助成

報償費： 210,000円(名張市環境推進員報償費)

※従来 of 環境委員に支払われていたものを協議会が窓口となり支払う。

前期繰越金： 5,655,050円

収入合計：18,602,590円

支出の部(総務費の主なものを説明)

総務事業費： 137,000円(講演会)

<p>(8) 議案第5号平成23年度公民館事業計画および会計予算の承認に関する件</p>	<p>費用弁償費： 400,000円 (実費弁償費) 会議費： 250,000円 (総会資料代) 研修費： 300,000円 (各種研修費・総務委員会、教育文化部会) 防犯防災費： 400,000円 (桔梗消防班へ補助金と防災訓練費に充てる。) 備品購入費： 1,000,000円 (防犯ベストを新しくする) 事務費： 600,000円 (印刷費、コピー代、その他事務経費) 雑費： 100,000円 (教育文化部会の要約筆記の費用)。</p> <p>企画運営費から地域福祉費までは各委員会、部会の方から説明があったので割愛する。</p> <p>積立金については、平成22年度と同額を計上した。</p> <p>財政調整積立金： 500,000円 自然災害積立金： 500,000円 車両購入積立金： 200,000円 予備費： 1,000,000円 コミュニティー活動費： 5,131,200円 (各地域にそのまま配分される。)</p> <p>報償費： 210,000円 (各地域の環境推進員に支給) 支出合計： 17,112,200円 次期繰越金： 1,490,390円 合計： 18,602,590円</p> <p>原田議長：引き続き公民館事業計画および会計予算案について、説明をお願いします。</p> <p>森永公民館長から、平成23年度公民館事業について、総会資料に基づき概ね次のように説明があった。</p> <p>基本的には例年通りの講座等を予定している。従って本年度新しく企画されたものについてご説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メンネルコール桔梗」は男性合唱で桔梗グリークラブがサークルになったため、設定した。 ・「サロン・ド・シャポネーゼ」は自然石鹸作りの教室。 ・「農を楽しむ」は桔梗南幼稚園の畑をお借りして農作物作りに挑
--	---

戦する学級。

- ・高齢者学級として「詩書を楽しむ会」を企画した。
- ・夏期大学講座は例年通り7月に4講座設けた。詳細は資料に記載のとおり。

公民館展は10月22・23日の2日間実施する予定。

松村会計担当理事から、平成23年度公民館会計について、総会資料に基づき概ね次のように述べた。

収入の部（主なものを説明）

指定管理料 15,022,000円（名張市指定管理制度）

使用料： 3,100,000円（公民館使用料）

コピー使用料： 720,000円（協議会関係の印刷、コピー代を含む）

事業収入： 150,000円（夏期大学参加費等）

雑収入： 50,000円（自販機電気代、利息等）

前期繰越金： 6,094,921円

収入合計25,136,921円

支出の部（主なものを説明）

人件費：9,400,000円（給与、社会保険料）

管理費：9,990,000円

消耗品費： 700,000円（事務用品等）

光熱水費：3,510,000円（電気、ガス、水道）

修繕料： 500,000円（非常階段塗装費用）

委託手数料：2,350,000円（法定点検料）

備品購入費：1,800,000円（TV、机、椅子等）

使用料等： 730,000円（リース料等）

車両費： 150,000円（燃料代）

運営費：2,170,000円

報償費： 550,000円（講師料）

旅費： 30,000円

印刷製本費： 150,000円（情報誌印刷代）

郵便料： 90,000円

事業費： 1,250,000円

（夏期大学、プチコンサート等）

雑費： 100,000円

消費税： 450,000円

(質 疑)	<p>予備費：1, 000, 000円</p> <p>支出合計：23, 010, 000円</p> <p>次期繰越金：2, 126, 921円</p> <p>合計：25, 136, 921円</p>
	<p>原田議長：議案第4号、第5号について質疑に入ります。ご質問のある方は、ご発言下さい。</p> <p>北森評議員：協議会会計の自然災害積立金であるが、先日のような大きな災害時は心配である。当地区の避難所数も運営体制も充分でないと思う。災害備品の備えや、避難所の整備にお金をかけるため、積立金を増額してもいいと思う。次年度に向けて提案させていただく。</p> <p>堀口評議員：2点お聞きしたい。公民館会計の委託手数料が高額になっているが、市内の他公民館と共同歩調を取って経費を安くすることは出来ないか。</p> <p>協議会会計の備品で「防犯用ベスト」が挙がっているが、その使用方法についてどのようにお考えか。</p> <p>坂口評議員：自主防災隊について、以前の組織はどうなったのか。</p> <p>公民館予算の次期繰越が前年比200万円減になっているが、その理由はなにか。</p> <p>議事録をホームページで公開できるように出来ないか検討願いたい。</p> <p>大垣副会長：自主防災組織の確立と積立金の額の関連付けは、検討して行く。旧自主防災隊の組織図は名張市には提出していないので、有効活用されていなかった。改めて組織、規約、要援護者支援制度等を含めて検討中。6月から7月中に具体的な最終案が出せると思う。</p> <p>松村会計担当理事（事務局次長）：法定点検は特殊建物点検が義務付けられ、市内の他館との共同は困難。備品購入費が前年比増となっているのは、当館の椅子、机の大部分がかなり老朽化しており、順次入れ替えて行く予定を立てている。したがって繰越金が減になっている。</p> <p>野邊理事（広報委員長）：協議会理事会、自治連合会は重要な会議と認識しているので、総会議事録も含めてホームページ上で公開出来ないか、広報委員会で検討する。</p> <p>大垣副会長：防犯ベストの使用については、各地区の子どものみま</p>

<p>6. 報告事項</p> <p>地域ビジョン策定の進捗状況について</p> 	<p>もり隊や各地区の様々な行事開催時等に幅広く貸し出す等、有意義な使用を考えて行きたい。</p> <p>花井評議員：色々な事業が計画され、大変いいと思うが最大の効果が挙がるようお願いしたい。健康推進部会の体操会との協働事業があるが、桔梗が丘には多くの体操会があることをご承知置きねがいたい。</p> <p>協議会会計・収入の部の助成金52,340円はどこからのものか 大垣副会長：助成金は「地域づくり団体全国協議会」で、三重県政策部地域づくり支援室経由で申請した。</p> <p>大垣副会長：本年度の予算執行に当たっては、有効かつ効果的な使用に務めてまいりたいと考えている。皆さんのご協力をお願いする。</p> <p>原田議長：災害時の支援については、大変重要と考えている。そのための心掛けと、意識の向上に努めなければならないと思う。</p> <p>原田議長：その他、ご意見がないようなので、採決に移ります。議案第4号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。</p> <p>全員賛成であります。よって、議案第4号は原案のとおり承認されました。</p> <p>原田議長：引き続き、議案第5号について、承認されます評議員の挙手をお願いします。</p> <p>全員賛成であります。よって、議案第5号は原案のとおり承認されました。</p> <p>従って、協議会会計予算案並びに公民館会計予算案の(案)を削除願いたい。</p> <p>原田議長から、以上で、提案されました議案は全て承認されました。引き続き報告事項に移ります。</p> <p>坂本前企画運営委員長から、地域ビジョン策定進捗状況について、プロジェクターを利用して概ね次のような報告があった。</p> <p>昨年7月から地域ビジョン策定に取組み、策定プロジェクトチーム10名が延べ26回の会合を重ねてきた。その経過について先程の平成22年度の事業報告で説明をしたとおりであります。</p> <p>本日はその中間報告をさせていただく。配布した資料は後ほど精読いただきたい。</p> <p>(報告の要旨)</p> <p>この計画の骨子は、昨年夏に実施したアンケート、あったらいいな提案を基にして策定案を進めてきた。</p>
---	--

	<p>地域ビジョンは「桔梗が丘“ほっとまち”構想とし、ビジョンの構成は「基本構想」「基本計画」からなっている。今回は基本構想までを中間報告としたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 桔梗が丘が目指す将来像。 「人の心が織りなす幸せ社会“ほっとまち”桔梗が丘」 ・ 基本理念：ほっとする心地よい居場所、そこには笑顔とやさしさがああり、絆があります。そして6つの“ほっとまち”（元気・賑わい、安心・安全、生きがい・健康、緑・環境、子ども・未来、自律、規範。） ・ 以上の6項目からなる“ほっとまち”憲章の制定をする。 (参考資料でアンケート結果と考察を記載) ・ アンケートの結果分析を説明 ・ 自由記述での様々な意見を紹介（街路樹、医療施設等） <p>これらの基本理念とアンケート結果等を基に最終案作りを進めていく予定をしている。</p> <p>これからの皆さんのご協力をお願いします。</p> <p>原田議長：以上で議事は全て終了しました。提出させていただいた議案全てが承認、可決されました。議事進行にご協力有難うございました。</p> <p>(拍手)</p> <p>7. 議長議事終了の挨拶</p> <p>司会者から、長時間にわたる審議に対してお礼の発言があった。</p> <p>(拍手)</p> <p>梅本副会長から、長時間の審議にお礼を述べ、今後とも協議会の活動にご支援、ご協力をお願いすると挨拶があった。</p> <p>8. 閉会の辞</p> <p>(拍手)</p> <p style="text-align: right;">議 長 原田忠義 </p>
--	--

議事録署名人

中山 茂 

議事録署名人

辻井 政教 

会 長	前 会 長	副 会 長	副 会 長	総務委員長	書 記
					